

2024年西日本教区伝道計画

モットー：「共に伝えよ、主は来たりたもう！」

伝道基本方針：「牧師は使徒に 信徒は弟子に 教会は光と塩に」

スローガン：「We Will GO! (共に伝えよ!)」「私がここにおります。私を遣わしてください」イザヤ 6:8

1) 自分一人ではなく「聖霊」が一緒であるゆえの「We」

2) 「私」だけでなくもう一人の「私」と共にの「We」、教会という共同体として遣わされている「We」

基本原則：1. キリスト第一：「私から離れては、あなたは何一つできない。」ヨハネ 15:5

2. 祈り第一：宣教と救霊は神様の働きであることを認め、神様に期待して祈る。

3. 宣教第一：救霊を教会の全ての活動の使命・目的とする。

4. 全員参加：教会員一人ひとりが救霊の意識を持って祈り、奉仕する。

西日本教区 2024年伝道戦略・・・祈りこそ最高の伝道戦略

「彼らはみな・・・心を合わせて、ひたすら祈りをしていた。」使徒行伝 1:14

『もし何人かの人たちが集まり、滅びゆく魂に対して同じ重荷を感じて、熱心に切実な祈りをささげるならば、それは救霊にとって最高に大きな働きとなり、彼らは実に有用な働きをしていることになる。』祈り p66

I. 初代教会の原点に立ち返って「祈り」を実践する。

「I (わたし)」: 777 の祈り 「We (共に)」: 234 の祈り、教会全体での祈り、10日間の祈り、祈りの行進

具体的な祈りの内容

① 熱心な悔い改め(罪を告白し、自尊心を取り除く) 「セレクトッド・メッセージ1」より

② 救霊の働きをするのにふさわしい者となれるように 「患難から栄光へ 上巻」より

③ 日常の交わりの中で人々をキリストに導くような言葉を語れるように 同上

④ 聖霊が豊かに注がれるように 同上

⑤ 求道者と長欠者を一人ずつ名を挙げて祈る「一人を救い、一人を連れ帰る」 祈りで全員参加!(TMI)

II. 通信講座を用いて聖書研究に誘う

祈っている方に機会を見て聖書通信講座による聖書の学びにお誘いする。

III. 祈りの行進

① 月に一回、教会の周辺を、チームを組んで「祈りの行進」を実践する。

2024年教区伝道計画

牧師は使徒に

① 教区牧師会を二カ月に一回オンラインで開催する。【2, 4, 6, 8, 10, 12月第二火曜日午前6時30分～】

② FASTの献身者【牧師・牧師夫人8人】に講習を行う。現在、受講中の牧師8名を最終段階まで導く。

③ FAST終了後に使用する聖書研究用教材を作製する。

④ FAST二段階修了以上の者から希望者数名を韓国FAST実践教会視察に連れて行く。

信徒は弟子に

① 各地区でリバイバル集会を役員講習会と抱き合わせで行う。「信徒は弟子に」の意識改革に努める。

② キリストの弟子ハンドブックを用いた育成プログラムを毎週オンラインで行う。【30週】

③ 教団安息日学校部長に協力を要請して、安息日学校の活性化に努める。

その他の伝道計画

① 長老、執事の研修プログラムを実施する。【6月8日 場所：大阪センター 講師：支部牧師会長】

② 各地区一か所の教会【集会所・聖書研究会】を選んでサポートプログラムを実施する。

③ 訪問を奨励する。

④ 大争闘プロジェクトの推進を計画し実行する。大争闘を個人で通読、教会で輪読することを奨励する。

※伝道局の各部局の企画する推奨企画やイベントを伝道委員で担当を選出して教区内での推進を図る。